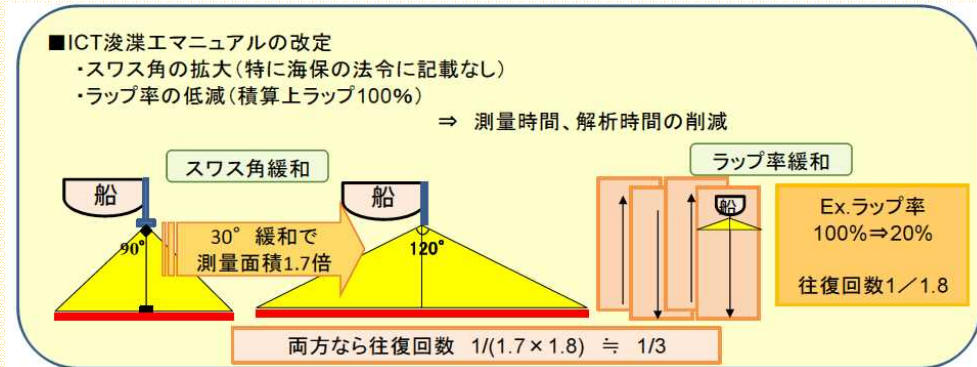


港湾分野におけるi-Constructionの動向

ICT浚渫工

ICT浚渫工の効率化を目指し、マルチビーム測量に関係するマニュアル・要領類の改善案の提示を目的として、実験工事や実測データ等を用いた検証を実施。



検証の結果は、マルチビームを用いた深浅測量マニュアル(浚渫工編)(令和2年4月改定版)にて改定(スワス角の設定値緩和:スワス角90°→スワス角90°~120°)但し、ラップ率は、100%で変更なし。

今後の取り組み

- ・費用・時間の削減+安全性・品質の向上に向けた、適正基準、提出資料削減に取り組む。
- ・他の工種へのICTの適用も模索。

CIMの目的

設計・施工・維持管理の各段階を跨いで、3次元モデルを情報プラットフォームとして活用することにより、関係者間で必要な情報共有を容易にし、建設生産システム全体の効率化を図る。

